



令和5年1月26日  
～美ら島の未来を拓く～  
内閣府沖縄総合事務局

## ドローン（UAV 自律飛行）を用いた羽地ダム貯水池巡視について 記者発表資料

北部ダム統合管理事務所では、ダム管理のDX推進の一環として UAV（自律飛行）を用いた貯水池巡視（貯水池斜面の変状の有無の確認等）の運用に向けた検討を行っています。

UAVによる貯水池巡視は従来の巡視船による貯水池巡視に比べ、巡視時間の短縮、確実性・安全性の向上等が期待されています。UAVによる貯水池巡視は、ダム管理の高度化・効率化につながるもので、県内ダムでは初めての試みとなります。

今回、令和5年度からの羽地ダムでの試行運用に向け、UAV自律飛行試験を行います。

◆日 時：令和4年1月31日（火）10:00～12:00

予 備 日：令和4年2月1日（水）14:00～16:00

※10:00より受付を開始しますので時間までに集合場所（地図参照）にお集まりください。

◆開催場所：羽地ダム堤体上（別添地図参照）

◆参加申し込みに関してはE-mailまたはFAXにて受付を致します。  
申込用紙を添付しておりますので、記入後ダム統管担当者まで  
送付をお願い致します。

### 羽地ダムの特徴

- 平成17年3月に完成した堤高66.5M、堤頂長198.0Mのロックフィルダム。
- 貯水池面積は1.15KM<sup>2</sup>、総貯水容量は19,800,000M<sup>3</sup>

令和5年1月26日

沖縄総合事務局

記者発表

沖縄総合事務局記者クラブ

i-Constructionに関する問い合わせ窓口

内閣府沖縄総合事務局開発建設部

技術管理課 課長 真栄里和也

技術管理課 課長補佐 町田宗久

TEL:098-866-1904（内線：3330）

# ドローン（UAV 自律飛行）を用いた羽地ダム貯水池巡視について

北部ダム統合管理事務所 管理課（砂川・津堅）宛

FAX：0980-52-4444

## 参 加 申 込 書

申込締切：令和5年1月30日（月）迄

★予備日参加の有無 （参加する・参加しない）

2023年 月 日 申込

フリガナ		
会社名		
フリガナ		参加人数
参加名（代表者名）		計名
住所		
TEL / FAX	TEL	FAX
代表者連絡先	TEL	E-mail

☆ 上記必要事項に記載し、FAX番号に返信をお願い致します。

☆ 会社名・参加者名には、必ずフリガナを、参加人数（合計）もご記載下さい。

☆ 参加される方はヘルメットを持参してください。

☆ 中止の連絡に関して

前日までに分かった場合：HP掲載（沖縄県本局、ダム統管）します

当日の場合：9:00までに申込み用紙記載の連絡先へ連絡いたします。

☆ 小雨でドローンが飛行しない場合は、飛行していた時の映像などを現場で流して対応したいと思います。

【問い合わせ先】 北部ダム統合管理事務所 管理課

TEL. 0980-53-2442(砂川:内 71-332・津堅:内 71-333)

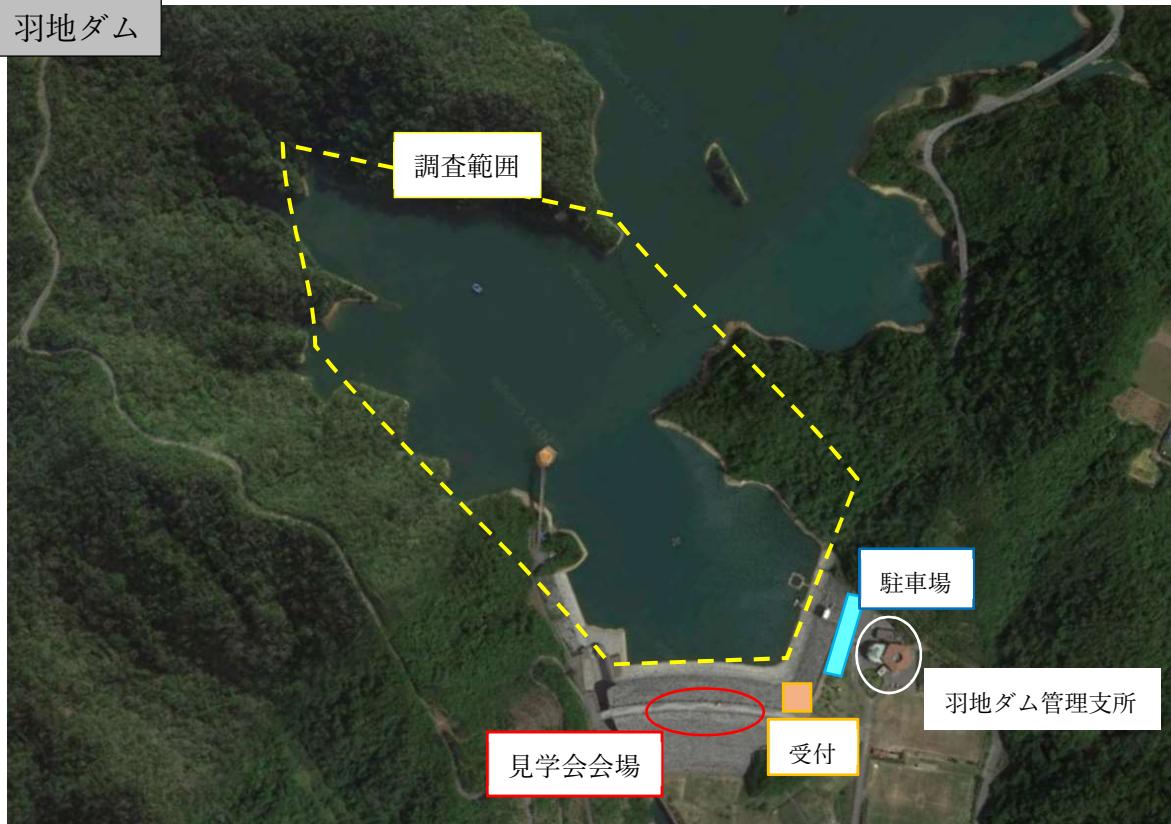
# UAV を活用した羽地ダム貯水池巡視について

- ・巡視船によって広大な範囲を目視確認している貯水池巡視について、自律飛行 UAV (ドローン) を用いて調査を行う。
- ・上空からの撮影により、これまで巡視船でアクセスができない貯水池末端部の確認や新たな法面崩落の兆候などを発見することが可能。
- ・調査毎に同じ高度とルートを飛行するため、同地点・同角度から正確な撮影データを取得できる。
- ・巡視員の負担が軽減され、船上作業を伴わないとため、安全性も確保できる。



項目	固定カメラタイプ	360° カメラタイプ
概要	・ UAV 搭載の固定カメラを使用する。 ・ 貯水池斜面を沿うように飛行し、貯水池全体を確認する。	・ UAV に 360° カメラを取り付け撮影する。 ・ 貯水池中央部を飛行し、貯水池全体を確認する。
特徴	・撮影箇所で停止して撮影する必要がある	・停止せずに連続して撮影することが可能 ・撮影画像の端部で歪が生じる ・カメラの重量で機体が大型になる
使用機器	機体 : Mavic 2 Enterprise	機体 : DJI Matrice 600 Pro ・カメラ : Insta360 Pro

# 見学会場(案内図)



## 交通アクセス



- ①名護東道路を北上
- ②突当りの伊差川 IC を右折
- ③左手にファミリーマートがありますのでその次の信号を右折
- ④道なりに行くと羽地ダムへ



Google マップを表示